



着衣着火にご注意ください

こんろやローソクなどの火が、衣服の裾や袖口などに着かないように注意しましょう。

【火災事例】

奥にある鍋を取ろうとしたり、換気するためこんろ越しに窓を開けようとして、手前にあるこんろの火が裾や袖口に着いた。

たき火をしていて、火が風にあおられ衣服に着火した。

【対策】

火が衣服に着かないように注意し、燃えにくい防災品を着用するなどの対策をしましょう。

万一、火が着いてしまったら、水をかけて消火するか、近くに水がない場合は、その場に倒れて手で顔を覆い左右に転がり、消火しましょう。

高齢者世帯防火診断を実施します

高齢者を火災から守ることを目的に、秋季火災予防運動の一環として、高齢者世帯防火診断を実施します。

日頃、防火について不安や疑問を持っている人は、お近くの民生委員に防火診断を依頼してください

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止する場合があります。

宝くじの助成金を地域コミュニティ活動に

宝くじ助成は、地域コミュニティの健全な発展を図ることを目的として、(一財)自治総合センターが宝くじの収益金を財源に実施しています。

▶消防団にヘルメットを整備

(令和3年度実施事業) 地域防災の要である消防団に対し消防団装備の充実強化を図ることを目的に、各分団(機能別消防団含む)のヘルメットを更新しました。



消防本部消防総務課 ☎22-0314 FAX22-9427



企画展

10月18日(月)まで 「奇才の絵師 張月樵 -彦根~京~名古屋への道-」

京で学び、名古屋の代表的な絵師として活躍した彦根出身の絵師、張月樵の作品と画業を紹介します。

10月23日(土)~11月23日(火・祝)

「日本の刀装 -刀を飾る技と美-」

鞘や柄、鐔などからなる刀装。本展では、館内外の優品を通して鞘塗を中心とした装飾の変遷を紹介。特に江戸時代に展開した、種々の素材や技法を取り合わせたバリエーション豊かな鞘塗は必見です。



重要文化財 銀地三鱗紋兵庫鎖太刀(号 北条太刀) 東京国立博物館蔵 (Image: TNM Image Archives)

- ①スライドトーク 10月23日(土) 14:00~(40分程度) ※無料
②関連講演会「日本の刀装 その豊かな装飾」 11月13日(土) 14:00~15:30 ※100円(資料代)
①・②共通事項 講師:当館学芸員 場所:講堂 当日受付(先着35人) 観覧料は別途必要

特別展記念対談

「語り尽くす! 大名家の袴と井伊家伝来刀装」



梅花皮絞黒研出 袴大小袴

【日時】11月6日(土) 14:00~15:30
【講師】伊東哲夫氏(文化庁文化財第一課調査官) 古幡昇子(当館学芸員)
【場所】博物館講堂 【定員】35人
【受講料】500円
【申込期間】10月1日(金)~同22日(金)(必着)
【申込方法】
▶往復はがき往信の裏面に①住所②氏名③電話番号を、返信の宛名面に①住所②氏名を書いて「特別展記念対談」係へ郵送(〒522-0061 金亀町1-1、1人1通まで)
▶博物館ホームページ(上記のQRコード)から申し込み

【休館日のお知らせ】10月19日(火)
10月20日(水)~同22日(金)は、展示替えのため一部休室します。

チケット情報

ひこね市文化プラザ

令和4年 2月27日(日) 14:00 グランドホール
福田こうへいコンサート2022【共催公演】
指定【友の会】10月3日(日) 9:00~予約開始
【一般】10月9日(土) 9:00~予約開始
一般・友の会: S席7,000円、A席6,000円

10月23日(土) 14:00 展示ロビー(メッセ棟1階)
文化プラザロビーコンサート

自由 観覧無料 ※限定50席/入場整理券が必要(10月10日(日)~配布)
出演:滋賀県立大学オーケストラ有志アンサンブル、滋賀県立大学吹奏楽部有志アンサンブル、マンドリン合奏団アンサンブルひこね、歌声倶楽部ら・ら・ら、彦根メンズコーラス、彦根混声合唱団
※翌日10月24日(日)13:00から、グランドホールで、彦根市民音楽祭実行委員会主催「秋の市民音楽祭」を開催!

申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00~19:00)
チケットはインターネットでもご購入いただけます。https://bunpla.jp/

10月の休館日: 4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は要開館日から承ります。

【ひこね市文化プラザ・みずほ文化センターでは、次の感染症対策を実施しています】▶館内設備の定期消毒 ▶手指消毒液の設置
▶飛沫飛散防止カーテンの設置 ▶非接触型体温計の常備 ▶新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサバ滋賀」の表示の設置

みずほ文化センター

10月24日(日)14:00 多目的ホール
彦根亭 みずほ寄席 Vol.40 神奈内公演
自由【好評発売中】小学生以上 託児あり(有料・要予約)
前売500円、当日600円
出演:【落語】笑福亭風喬/笑福亭鉄瓶
【漫才】ウッドランド 【漫談】華井二等兵

12月11日(土)14:30 多目的ホール 津軽三味線日本一の経験を持つデュオのコンサートです!
輝&輝 津軽三味線コンサート

指定 10月2日(土)販売開始 小学生以上 託児あり(有料・要予約)
一般2,000円、青少年(25歳未満)1,500円

12月18日(土)14:00 多目的ホール 出演:パペットシアター・らせんくらぶ、影絵人形劇団むむのこ
人形劇&影絵公演
自由10月2日(土)販売開始
前売500円、当日600円(2歳以上有料)

申込・お問い合わせ先 みずほ文化センター ☎43-8111 (9:00~17:00)

10月の休館日: 5日(火)、12日(火)、19日(火)、26日(火)

◎表記の価格は全て税込価格です。
◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。



側役日記(彦根藩井伊家文書)【部分】

入った直幸が、再び江戸に発つ宝暦7年(1757)4月21日の日記の記述を見てみましょう。
「六つ前(午前6時前頃)、直幸が御表(御殿の表方)にお

彦根藩井伊家の当主(殿様)は、日頃何をし、どのような生活を営んでいたのでしょうか。これまで彦根城博物館が行ったさまざまな調査や研究などにより、その様子は部分的に明らかになりましたが、実は日常生活の全体像は未だによく分かっていません。
これに迫る手がかりとなる史料が「側役日記」と呼ばれる彦根藩士が記した役務日誌です。「側役」は、藩主の側に付いて藩主政務の補佐を担った役人のことで、諸役人と藩主の取り次ぎなどを務めました。彼らが記したこの日記は、十代当主直幸の頃のものを中心に約70冊が当館に収蔵され、藩主の日々の行動を記録した史料として注目されます。
例えば、前年に藩主となって初めて彦根に

入った直幸が、再び江戸に発つ宝暦7年(1757)4月21日の日記の記述を見てみましょう。
「六つ前(午前6時前頃)、直幸が御表(御殿の表方)にお

出でになり、御櫛(整髪)をお命じになった。その後、二汁五菜の本膳料理で出発のお祝いをなされた。そして、奥方(御殿の奥向)へお戻りになられ、五つ時過ぎ(午前8時過ぎ頃)に再び御表へお出でになり、先だって旅装束にお着替えになられた。五つ半時前(午前9時頃)、お祝いに熨斗とお茶を召し上がり、家臣を呼び寄せられ、すぐに表玄関からご機嫌良くお発ちになられた。
直幸のこれらの行動は、以後彦根から江戸に発つ日に同様に確認できることから、ルーチンであったと考えられます。このように「側役日記」からは、御殿での藩主の活動を具体的にうかがい知ることができるといえます。
彦根城博物館では、令和3年度から7年度にかけて「殿様の日常生活」の解明をテーマとした研究会を組織して、この「側役日記」の分析を進めていきます。新たに判明した事柄などを随時お知らせしますので、ご期待ください。
【彦根城博物館学芸員 北野智也】

殿様の日常生活に迫る「側役日記」

とまきの玉手箱

博物館からのメッセージ